

SPS 新機能解説書

I. 概要.....	1	(3) 根切・埋戻.....	14
1. 基本部位.....	1	(4) 埋戻土・盛土.....	14
2. 部位.....	1	14. 個別集計リスト.....	14
3. 工期.....	2	(1) 集計の種類.....	14
4. PC・デッキ用の入力.....	2	(2) リスト型の入力.....	15
5. 個別集計.....	3	(3) 範囲型の入力.....	15
6. インポートとエクスポート.....	3	15. 部材の検索.....	15
(1) インポート.....	3	(1) 検索方法.....	16
(2) エクスポート.....	3	16. ベース.....	16
(3) テンプレートの削除.....	4	(1) 土地業.....	16
II. SPS.....	5	(2) 基準点.....	16
7. 部位リスト.....	5	(3) 独立基礎の増打.....	16
(1) リストの表示.....	5	17. 柱.....	17
8. PC 梁リスト.....	5	(1) 基本部位.....	18
(1) 寸法の入力.....	5	(2) 土工・地業工事.....	18
(2) PC 梁リスト詳細.....	6	18. PC 梁.....	18
(3) ウィザード.....	7	(1) 入力モード「PC 梁」.....	18
9. 雑リスト.....	8	(2) PC 梁の入力.....	18
(1) インポートとエクスポート.....	8	(3) 入力ウィザード.....	18
10. 仕上リスト.....	8	(4) PC 梁の詳細情報.....	20
(1) データの構成.....	8	19. スラブ.....	20
(2) インターフェース.....	9	(1) 軒先と棟側の形状.....	20
(3) リストの追加.....	9	(2) スラブの詳細情報.....	21
(4) レベルの追加と削除.....	9	20. スラブ Type4.....	21
(5) 層の高さ.....	9	(1) 平面図での編集方法.....	22
(6) 種別の入力.....	9	(2) スラブ Type4 の詳細情報.....	22
(7) 場所の追加.....	9	21. デッキ・PC スラブ.....	23
(8) 条件の変更.....	10	(1) デッキ・PC スラブの入力.....	23
(9) 優先度の変更.....	10	(2) デッキ・PC スラブの詳細情報.....	26
(10) インポート.....	10	22. 壁.....	26
(11) エクスポート.....	10	(1) 土工・地業工事.....	27
11. コンクリート配分リスト.....	10	23. 段差.....	27
(1) リストの表示.....	11	(1) 段差の詳細情報の入力.....	28
(2) リスト.....	11	24. 仕上げ.....	28
(3) 割り付け.....	11	(1) 曲勾配の入力方法.....	29
12. スパンリスト.....	12	25. スパン割り.....	29
(1) リストの表示.....	12	(1) 曲勾配の入力方法.....	29
(2) スパンの追加.....	12	26. 敷地範囲.....	30
(3) 順番の変更.....	13	(1) 入力方法.....	30
(4) 積算とビューアの有無.....	13	27. 掘削.....	31
13. 土工・地業リスト.....	13	(1) 設定方法.....	31
(1) 各部名称.....	14	28. ボイドスラブ.....	31
(2) 捨てコン・砕石.....	14	(1) 入力手順.....	32

29. オプション設定	33
(1) テンプレートフォルダの設定	34
III. 入力の注意点.....	35
30. テンプレートの使い方	35
31. 段差の入力	35
32. 仕上リストの入力.....	36
(1) 仕上リストの特徴.....	36
(2) 互換性について	37
33. スパン割の計算とオブジェクト	37
34. 個別集計の計算位置.....	37
(1) スパン割	37
IV. SPS-List	38
35. 抽出設定	38
(1) インポートとエクスポート.....	38
36. 注意書き	38
(1) 作成する	38
(2) 編集する	39
(3) 削除する	39
37. 画像挿入	39
(1) 作成する	39
(2) 削除する	40
38. 個別集計計算書.....	40
(1) 集計表について	41
(2) 計算書について	41
39. 土工・地業計算書	42
(1) 集計表について	42
(2) 残土処分・不足土搬入について	43

I. 概要

1. 基本部位

PC 関連の基本部位が追加されました。追加された項目と計算順序、説明は次の表のとおりです。

表1 追加される基本部位と優先順位

優先	基本部位	説明
高 ↓ 低	ベース	既存
	PC 柱	部材「柱」「雑」の基本部位を変更することで選択できる。
	柱	既存
	PC 梁	部材「PC 梁」の既定の基本部位。部材「PC 梁」「梁*1」「雑」の基本部位を変更することでも選択できる。
	梁	既存
	PC 小梁	部材「PC 梁」「雑」の基本部位を変更することでも選択できる。
	小梁	既存
	デッキ・PC スラブ	部材「デッキ・PC スラブ」の既定の基本部位。部材「雑」の基本部位を変更することでも選択できる。
	段差	部材「段差」の既定の基本部位。部材「雑」の基本部位を変更することでも選択できる。
	スラブ	既存
	耐圧版	既存
	PC 壁	部材「雑」の基本部位を変更することで使用する。
	壁	既存
	PC 階段	部材「雑」の基本部位を変更することで使用する。
	階段	既存
	PC 雑	部材「雑」の基本部位を変更することで使用する。
	雑	既存

2. 部位

部位リストの既定値が変更されました。部位と基本部位の関係は次の表のとおりです。

※ 既定値は作成時に設定されるため、既存データには PC 関連の部位が追加されていないことに注意してください。

表2 部位と基本部位

番号	部位名	基本部位	説明
1	ベース	ベース	既存。
2	柱	柱	
3	梁	梁・小梁	
4	スラブ	スラブ	
5	耐圧版	耐圧版	

* 1 表示により違いが分かりにくく混乱しやすいため、梁の基本部位を「PC 梁」に変更できるようにするか要検討。

番号	部位名	基本部位	説明
6	壁	壁	
7	階段	階段	
8	バルコニー	-	
9	廊下	-	
10	雑	雑	
11	PC 柱	PC 柱	新たに追加された部位。
12	PC 梁	PC 梁	
13	PC スラブ	デッキ・PC スラブ	
14	PC 壁	PC 壁	
15	PC 階段	PC 階段	
16	PC 雑	PC 雑	
-	勾配スラブ	-	既存。
-	デッキスラブ	-	
-	立上り壁 A	-	
-	立上り壁 B	-	
-	パラペット	-	
-	ハト小屋	-	
-	機械基礎	-	

3. 工期

工期は後打ちを拡張した機能で、後打ちを階層的に掛けることができます。

工期を使うことで施工図などのように下階に数値の影響を与えたくない場合や、土間の上にシンダーコンがあるような複数層でコンクリート打設のタイミングが分かれる様な入力が可能になります。

表3 計算の優先順位

優先	項目	内容
	工期	工期の早い範囲が遅い範囲を控除する。接続部分の型枠は控除されず、面も分割されないものとする。 (別の言い方をすると優先度の高い工期は低い工期の影響を一切受けません。)
	基本部位	優先度の高い基本部位が低い部位を控除する。優先度の高い部材の接続部分の型枠は控除される。
	フロア	優先度の高いフロアが低いフロアを控除する。優先度の高い部材の接続部分の型枠は控除される。

4. PC・デッキ用の入力

PC やデッキ用の入力のための部材が追加されました。

これらを使用することで PC、デッキ、鉄骨などの部材を効率よく入力することが可能です。

詳しくは「8 PC 梁リスト」「17 柱」「18 PC 梁」「21 デッキ・PC スラブ」「22 壁」「23 段差」を参照してください。

5. 個別集計

ベース、柱、梁、壁、手摺(立上り)、雑、建具のヶ所数や長さの集計ができるようになりました。個別集計リストで集計したいリストにチェックを入れるだけで、専用の計算書に出力されます。

詳しくは「14 個別集計リスト」「38 個別集計計算書」を参照してください。

6. インポートとエクスポート

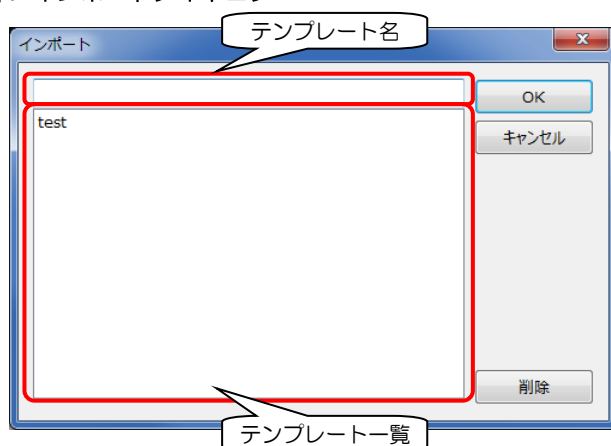
基本リストや抽出設定などでデータのインポートとエクスポートができるようになりました。別の建物や別の物件で使ったリストをエクスポートし現在の物件にインポートしたり。一般的な形状をテンプレートにして共有したりできます。

詳しくは各リストプロパティの内容を参照してください。

(1) インポート

「テンプレート一覧」からテンプレートを選択し「OK」ボタンをクリックします。

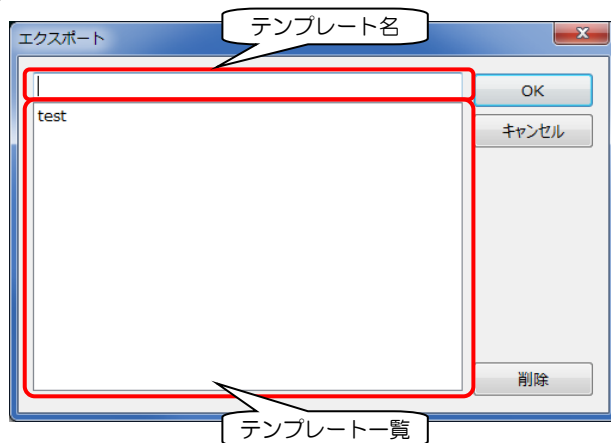
図1 インポートダイアログ



(2) エクスポート

「テンプレート名」に新しい名前を入力して「OK」ボタンをクリックします。既存のテンプレートに上書きする場合は「テンプレート一覧」からテンプレートを選択して「OK」ボタンをクリックします。

図2 エクスポートダイアログ



(3) テンプレートの削除

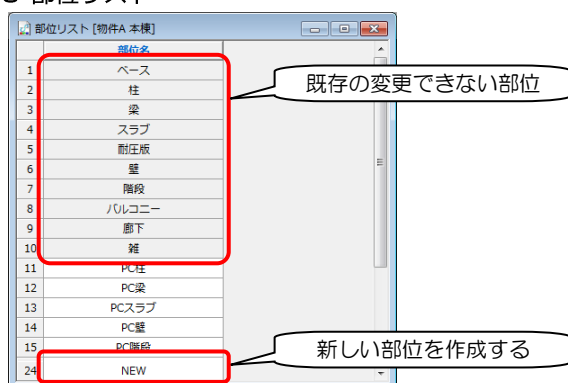
「テンプレート一覧」から削除したいテンプレートを選択して「削除」ボタンをクリックします。

II. SPS

7. 部位リスト

部位リストは建物のプロパティから分離され、独立したウィンドウが表示されます。

図3 部位リスト



(1) リストの表示

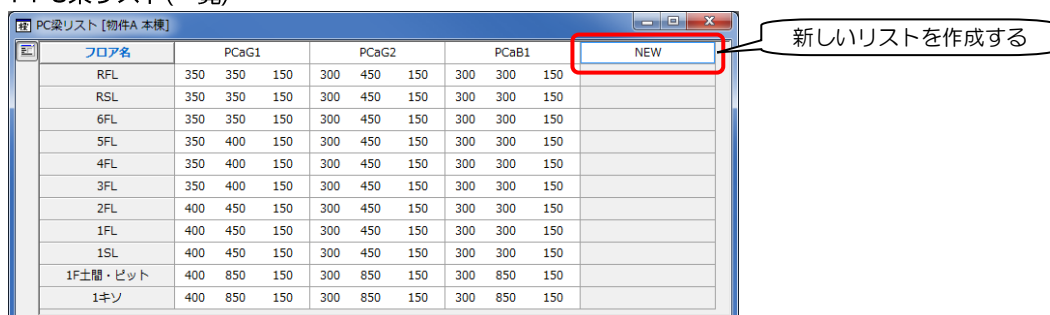
次のいずれかの方法で部位リストの表示が可能です。

- ・ リストツールバーの「部位リスト()」をクリックする。
- ・ メニューの「基本リスト(L) → 部位リスト(T)」を選択する。
- ・ プロジェクト内の建物名を右クリックして、コンテキストメニューから「基本リスト(L) → 部位リスト(T)」を選択する。

8. PC 梁リスト

PC 梁リストは PC 梁の断面情報を作成するためのものです。一般的な PC の断面形状と梁天からの下がりなどを入力します。

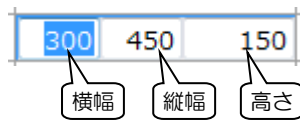
図4 PC梁リスト(一覧)



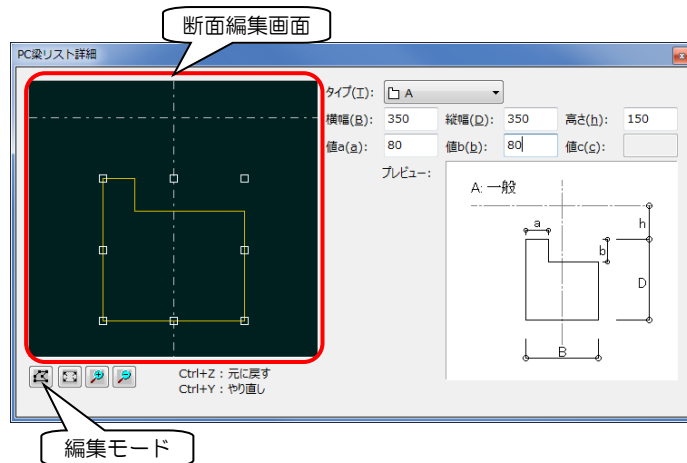
(1) 寸法の入力

セルをダブルクリックすることで寸法を入力することができます。一覧表で入力できるのは「横幅」「縦幅」「高さ」のみで、さらに詳細な情報を入力する場合は詳細情報を開きます。

図5 寸法入力



(2) PC 梁リスト詳細



a. タイプ

タイプを変更することで各寸法の意味合いが変化します。詳しくはしたの表を参照して入力してください。

表4 タイプの形状と寸法

項目	A	B	C	H 鋼
プレビュー	A: 一般 	B: 凹型 	C: 凸型 	H: H鋼
横幅(B)	PC 梁の断面の幅を入力します。			
縦幅(D)	PC 梁の断面の高さを入力します。			
高さ(h)	梁天から PC 梁までの下がりを入力します。			
値 a	突起部分の幅	突起部分の幅	ヌミの幅	フランジの厚み
値 b	突起部分の高さ	左側突起部分の高さ	左側ヌミの高さ	ウェブの厚み
値 c		右側突起部分の高さ	右側ヌミの高さ	

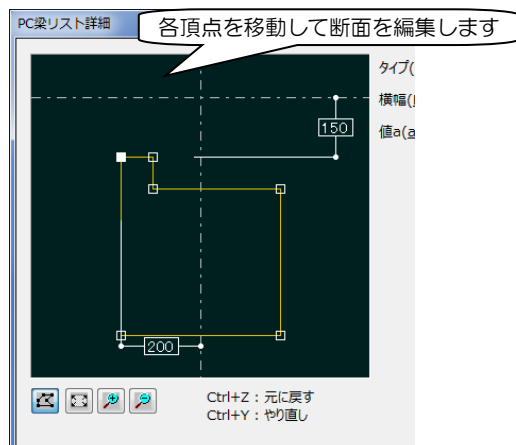
b. 断面編集画面

断面編集画面を使って複雑な断面の作成が可能です。

c. 編集モード

「編集モード」ボタンを押すことで断面の編集をより詳細に設定することが可能になります

図6 頂点編集モード



(3) ウィザード

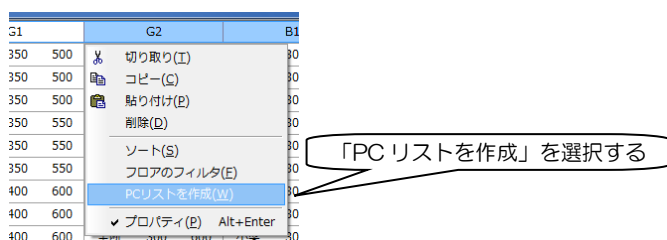
PC 梁のリストは梁リストを元に一括作成することができます。

① 元のリストを選択

梁リストを開き元になるリストを選択します。

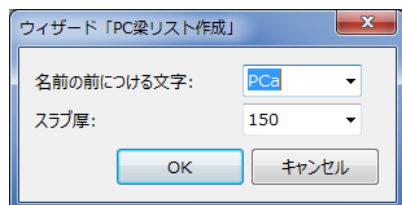
② リストの作成

右クリックしコンテキストメニューから「PC リストを作成」を選択します。



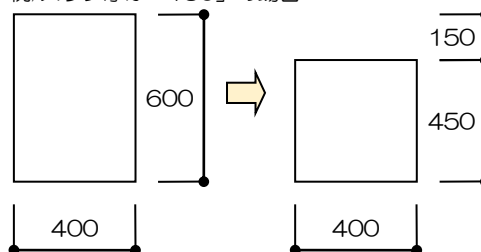
③ ウィザード「PC 梁リストの作成」

ウィザードに設定内容を入力して「OK」ボタンをクリックします。設定の内容は下図を参考にしてください。



例) 「名前の前に付ける文字」が「PCa」の場合
G1 → PCaG1

例) スラブ厚が「150」の場合



④ 完了

選択したリストから一括で PC 梁リストが作成されます。

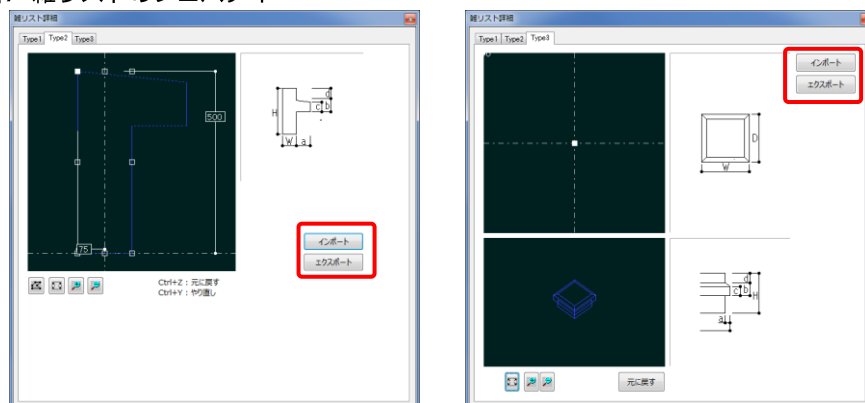
9. 雑リスト

雑リストの変更点について、雑リストのプロパティ画面でテンプレートへのインポートとエクスポートができるようになりました。

(1) インポートとエクスポート

雑 **Type2** と雑 **Type3** のリストでインポートとエクスポートが使用できるようになりました。「雑リスト詳細」ダイアログに「インポート」ボタンと「エクスポート」ボタンから操作します。

図7 雑リストのプロパティ



10. 仕上リスト

仕上リストの変更点について、データ構成が仕分けの条件と型枠種別に変更されています。これに伴いインターフェースなども大きく変更されています。

(1) データの構成

以前と比べ次のような点で変更されています。

- ・ 仕上げの層は以前から 1 層追加され 5 層まで追加できます。
- ・ 層の名前はレベル 0～レベル 4 に変更されました。
- ・ 種別分けの条件は基本部位、部位、面、形状を選択して自由に編集できるようになりました。

(2) インターフェース

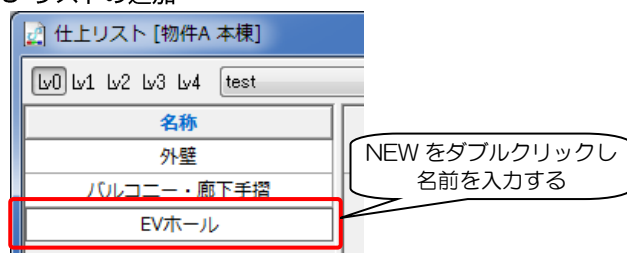
図8 仕上リストのインターフェース



(3) リストの追加

リスト一覧の最下行「NEW」をダブルクリックして、名前を入力することで新しい表を作成できます。

図9 リストの追加



(4) レベルの追加と削除

高さによって型枠種別が異なる場合、ツールバーのレベルボタンをクリックして、必要な層を追加や削除することができます。

不要な層は仕上表内のレベル名を選択して **DELETE** キーを押すことでも層を削除できます。

なお、上の層から順(レベル 0 が一番下)に表示されます。

(5) 層の高さ

仕上表内のレベル名の「高さ」列を入力することで、その層の下端の高さを変更できます。

(6) 種別の入力

「型枠種別」列をダブルクリックすることで、条件の一致する面の仕上げを変更できます。

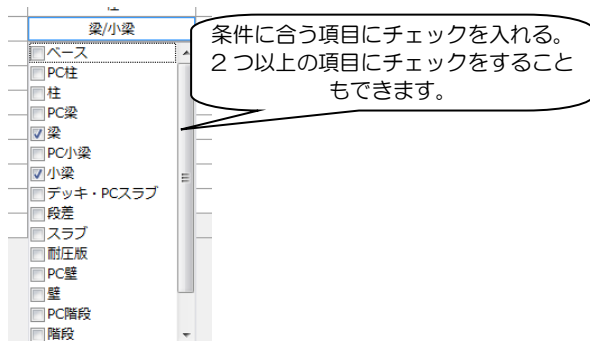
(7) 場所の追加

各レベルの「場所」列の最下行にある **NEW** をダブルクリックし名前を入力することで、新しい仕分けの条件を追加できます。

(8) 条件の変更

各条件をダブルクリックするとドロップダウンでチェックリストが開き、条件に合う項目にチェックを入れます。

図10 条件の変更



(9) 優先度の変更

レベル内の条件はドラッグ&ドロップで優先度を変更することができます。

条件の優先順位は上の行ほど高くなります。ただし、レベル名の行は最も低くなり、条件に一致しないものだけがその仕上げになります。

図11 条件の優先度



場所の列をドラッグすることで、条件の順番を変更することが可能です。

(10) インポート

テンプレートのドロップダウンからリストを選択することで、テンプレートに保存された仕上表をインポートすることができます。

(11) エクスポート

ツールバーの「テンプレートに保存」ボタンを押すことで、現在の仕上表をテンプレートに保存することができます。

11. コンクリート配分リスト

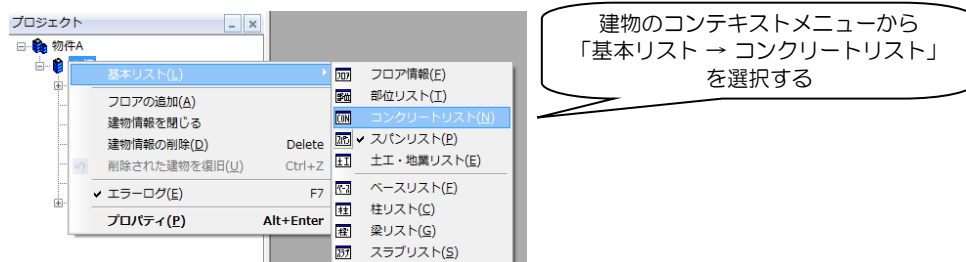
コンクリートリストの変更点について、名称とスランプをひとつにまとめ、リストごとに括弧書きか除外かを選択できるようになりました。ただし、型枠集計と異なり括弧書きありの場合は常に全体から除外されます。

インターフェースは建物のプロパティから分離し、コンクリート割り付けリストと統合されコンクリート配分リストとなりました。

(1) リストの表示

「プロジェクト」ウィンドウの建物名を右クリックし、コンテキストメニューから「基本リスト → コンクリートリスト」を選択します。

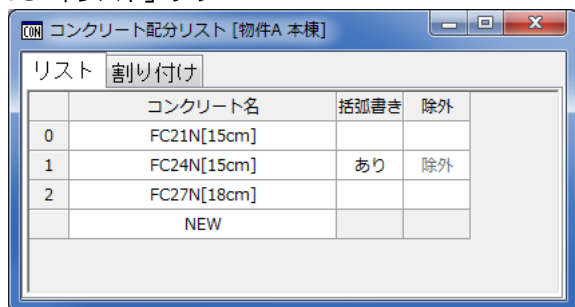
図12 コンテキストメニュー



(2) リスト

「リスト」タブには以前の建物情報内のコンクリートリストが表示されます。

図13 「リスト」タブ



a. コンクリート名

コンクリートの名称をスランプも含めて入力します。

b. 括弧書き

計算書の集計で括弧書きにして全体から除外します。

c. 除外

計算書の集計から除外します。

(3) 割り付け

「割り付け」タブには以前のコンクリート割り付けリストが表示されます。コンクリートの割り付けが分かりやすいように、色分けされます。

図14 「割り付け」タブ

リスト	割り付け	ベース	柱	梁	スラブ	耐力板	壁	階段	バルコニー	廊下	雑	PC柱	PC梁	PCスラブ	PC壁	PC階
RFL	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
RSL	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
6FL	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC27N[18cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
5FL	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
4FL	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
3FL	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC24N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
2FL	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
1FL	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
1SL	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
1F土間・ピット	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]
1キソ	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]	FC21N[15cm]

12. スパンリスト

スパンリストの変更点について、データが変更されスパンごとに積算とビューアへのデータを出すか選択できるようになりました。また、順序の変更が可能になっています。

インターフェースは建物情報から分離されています。

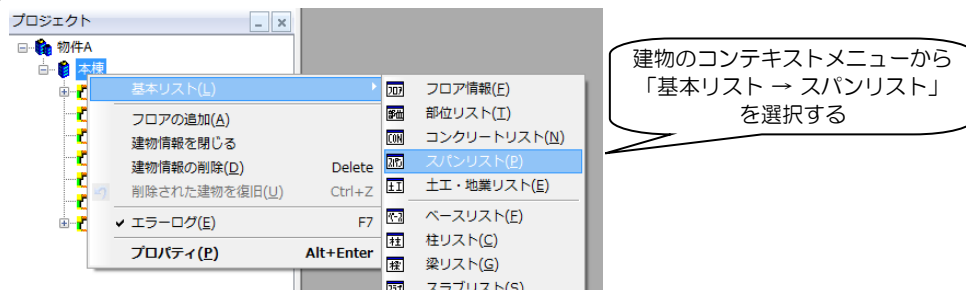
図15 スパンリストのイメージ

	スパン名	積算	ビューア
0		あり	あり
1	A班		
2	B班	あり	あり
3	C班	あり	あり
4	D班	あり	あり
5	E班	あり	あり
6	F班	あり	あり
7	G班	あり	あり
8	H班	あり	あり
	NEW		

(1) リストの表示

「プロジェクト」ウィンドウの建物名を右クリックし、コンテキストメニューから「基本リスト → スパンリスト」を選択します。

図16



(2) スパンの追加

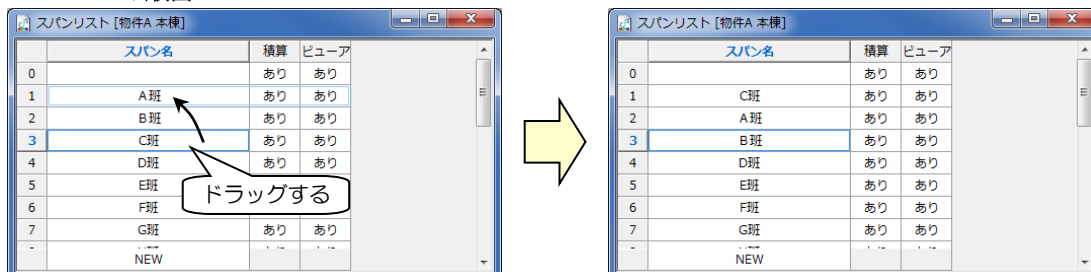
最下行の「スパン名」列にある「NEW」をダブルクリックし、名前を入力することで新しいスパンを作成できます。

(3) 順番の変更

スパン名の列をドラッグすることで順番を変更することができます。

ただし、0 番目のスパンは移動できません。

図17 スパンの順番

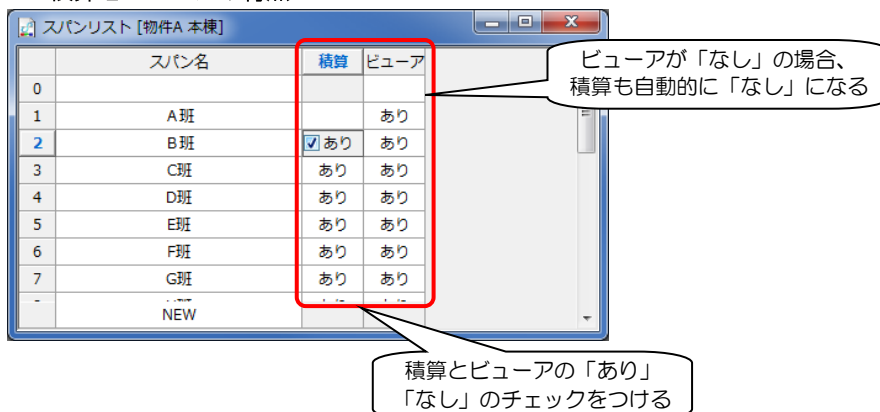


(4) 積算とビューアの有無

各スパンごとに積算(型枠やコンクリートの計算書)やビューアの有り無しを設定できます。

ただし、積算ありでビューアなしの組み合わせは不可能です。

図18 積算とビューアの有無



13. 土工・地業リスト

土工・地業リストの変更点について、土工の各部名称の変更が可能になり、捨てコン・砕石の厚みを部位ごとに変更できるようになりました。

図19 インターフェース

各部名称

床付け: 本付切
 砕石: 砕石
 捨てコン: 捨てコン
 捨てコン型枠: 捨てコン止め枠
 断熱材: 断熱材
 防湿シート: 防湿シート

捨てコン・砕石

部位	捨てコン	砕石
独立基礎	50	60
布基礎	50	60
柱	50	60
梁	50	60
耐圧版	50	100
スラブ	50	100
壁	50	60
階段	50	100
雑	50	100

根切・埋戻

余幅/勾配	高さ(以下)	余幅	勾配
	1,000	1,000	3:10
	2,000	600	10:10
	-	2,000	0:10

埋戻土: 根切土の中の良土
 盛土: 根切土の中の良土

(1) 各部名称

床付け、砕石、捨てコン、捨てコン型枠、断熱材、防湿シートの計算書内の名称を変更できます。

(2) 捨てコン・砕石

捨てコンと砕石の厚みを部位ごとに設定できます。捨てコン、砕石の列をクリックすることで入力できます。

(3) 根切・埋戻

根切の深さ(掘削 GL からの高さ)に応じて、余幅と勾配を設定できます。なお、勾配は「幅:高さ」で入力します。各列をクリックすることで入力でき、最下行の高さを入力すると 1 行追加されます。

(4) 埋戻土・盛土

埋戻土と盛土の種類を「根切土中の良土」と「搬入良土」の 2 種類から選択します。

14. 個別集計リスト

個別集計リストは部材のメーターや個数を拾うためのリストです。

図20 インターフェース

個別集計リスト [物件A 本棟]

独立キソ | 布キソ | 柱(個数) | 柱(長さ) | 梁 | 壁 | 手摺/立上 | 段差 | 雑Type2 | 雑Type3 | 開口 | ミゾ | PC梁

	ベース名
☒	F1
☒	F3
☒	F4
☒	F5
☒	F6
☒	F7
☒	F8
☒	F9

(1) 集計の種類

集計はリスト型と範囲型の 2 種類がある。

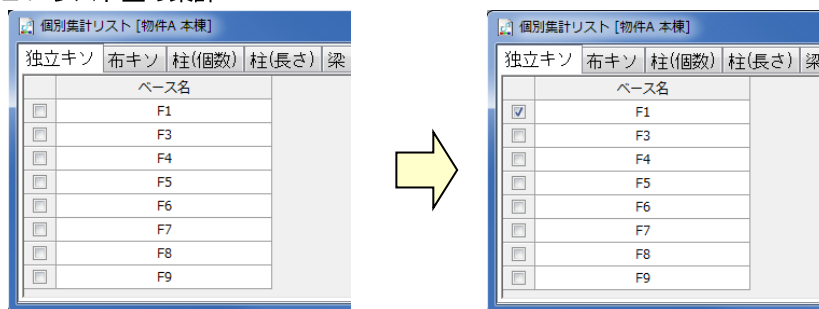
表5 集計の種類

種類	説明
リスト型	独立キノ、布キノ、柱、梁、一般壁、雑 Type2、雑 Type3、建具など、入力済みのリストごとに長さや個数を集計します。個別集計リストの入力はこれらのリストを入力した後に 行う必要があります。
範囲型	手摺、ミゾなどのメーターを高さや幅の範囲に分けて集計します。

(2) リスト型の入力

リスト型の入力は、各部ごとに入力済みのリストが一覧表示され、集計するリストにチェックをつけます。

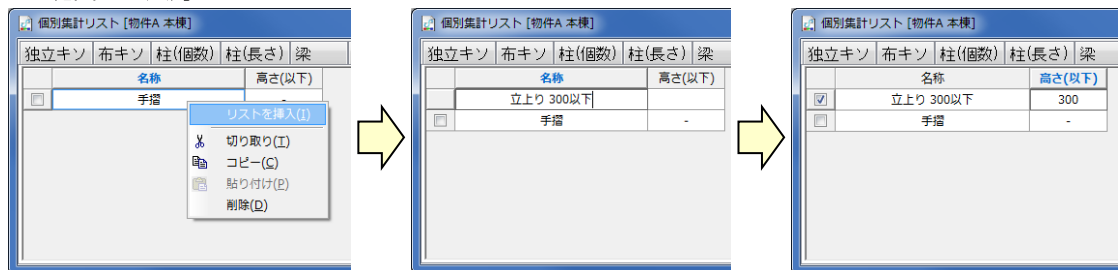
図21 リスト型の集計



(3) 範囲型の入力

範囲型の入力は、幅や高さの範囲にリストを挿入し、名前と高さを設定します。その後、集計する範囲にのみチェックをつけます。

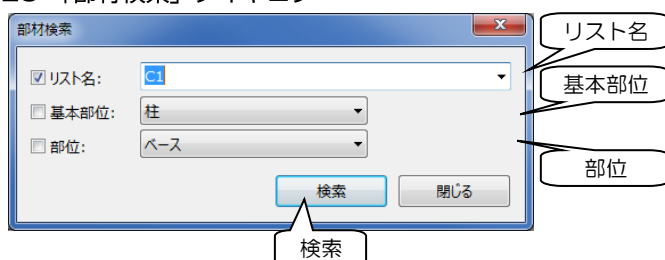
図22 範囲型の入力



15. 部材の検索

部材の検索は、図入力が入力されている部材のうち検索条件が一致した部材のみを選択します。

図23 「部材検索」ダイアログ



(1) 検索方法

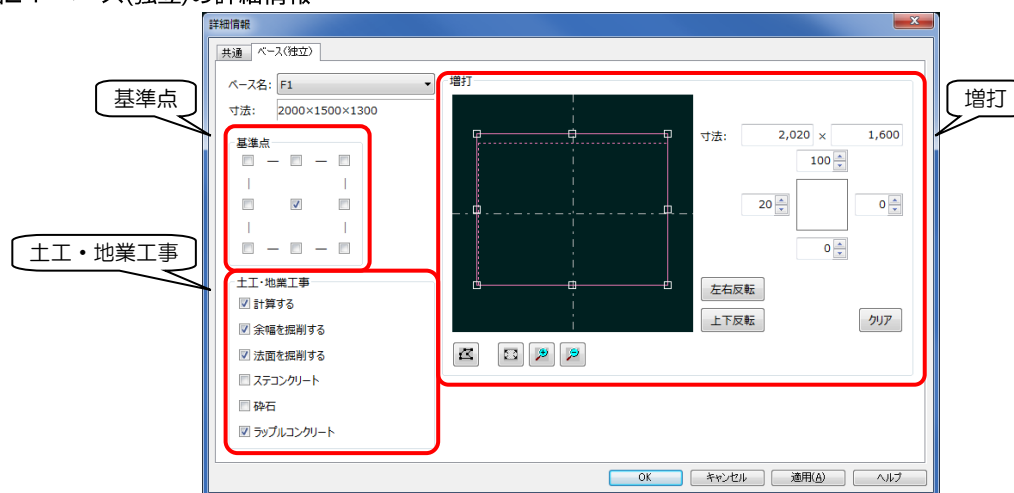
検索の条件(リスト名、基本部位、部材)のうち必要なものを一つ以上(2 つ以上選択した場合条件は AND になります)入力し、「検索」ボタンをクリックすると現在開いているフロアの部材が選択されます。

ただし、入力モードが柱の時に、検索条件が梁などになるようにして検索した場合、何も選択されませんので注意してください。

16. ベース

ベースの変更点について、詳細情報の土工地業が一部変更されました。さらには独立基礎の詳細情報では基準点が追加され、増打ができるようになりました。

図24 ベース(独立)の詳細情報



(1) 土工地業

作業範囲の掘削を、余幅と法面の有無のそれぞれに設定できるようになりました。

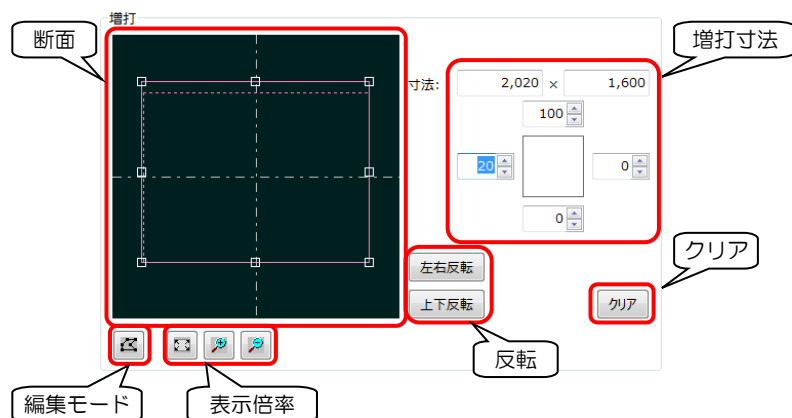
(2) 基準点

現在選択中のベースの基準点を一斉に変更することができます。

(3) 独立基礎の増打

柱の増打と同様の増打入力ができるようになりました。

図25 ベースの増打



a. 増打寸法

増打後の寸法を入力したり、上下左右の増打量を個別に入力します。

b. 断面

増打後の断面形状が表示されます。

断面内でポイントを移動することで断面の形状を編集することができます。

c. 編集モード

編集モードには「矩形編集モード」と「頂点編集モード」があり、このボタンを押すことでモードを切り替えます。

d. 倍率

断面の表示倍率を拡大(中)したり縮小(右)したりします。左のボタンは断面全体が表示されるように倍率を調整します。

e. 反転

増打後の断面形状の上下や左右を反転させます。

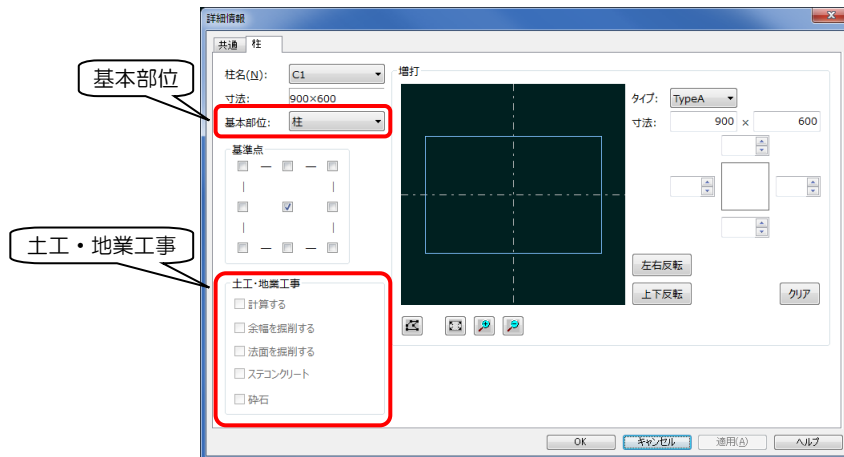
f. クリア

増打が無い状態に戻します。

17. 柱

柱の変更点について、柱の詳細情報で PC 柱用に基本部位が変更できるようになり、土工・地業工事が追加されました。

図26 柱の詳細情報



(1) 基本部位

基本部位の項目が追加され、「柱」と「PC 柱」から選択できます。

(2) 土工・地業工事

柱にも土工・地業工事の積算が追加されました。

18. PC 梁

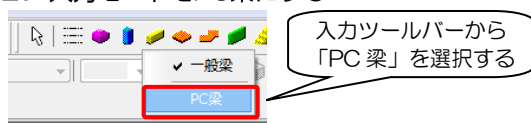
新しく PC 梁が追加されました。PC 梁はコンクリート部分の控除や、梁受けのメーター数拾いなどのために入力できます。

PC 梁は PC 梁リストを元に入力します。PC 梁モードを使って梁と同様に入力するか、ウィザードを使って既存の梁から一括で入力する方法があります。

(1) 入力モード「PC 梁」

入力モードの変更は入力ツールバーの「梁」をクリックし、ポップアップメニューから PC 梁を選択します。

図27 入力モードをPC梁にする



(2) PC 梁の入力

梁の入力と同様に、ダブルクリックからドラッグすることで、ドラッグ開始地点から終了地点にかけて PC 梁が入力されます。

(3) 入力ウィザード

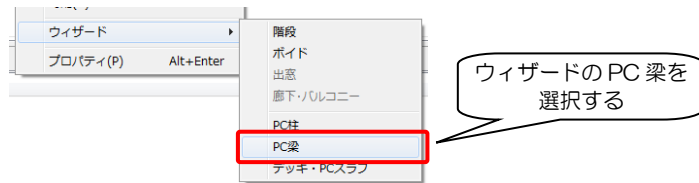
入力ウィザードを使うことで入力済みの梁を元に PC 梁を一括で入力することが可能です。

① 梁の選択

入力モードを「編集」か「梁」に変更し、入力済みの梁を選択します。

② ウィザードを起動する

右クリックしコンテキストメニューから「ウィザード → PC 梁」を選択します。



③ ウィザードを入力する

PC 梁一括入力ウィザードに必要な内容を入力して「OK」ボタンを押します。

図28 PC梁一括入力ウィザード

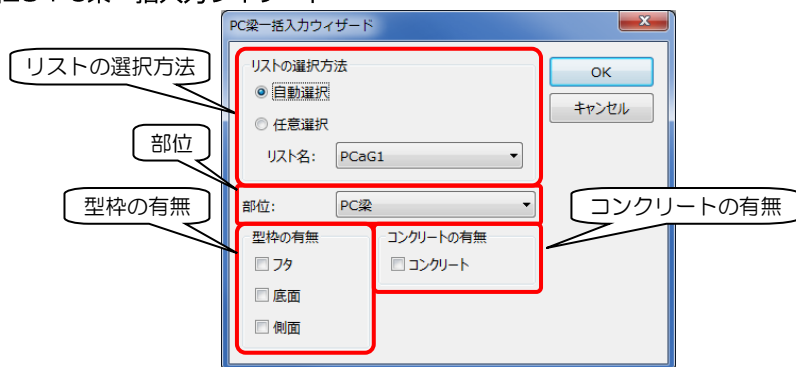
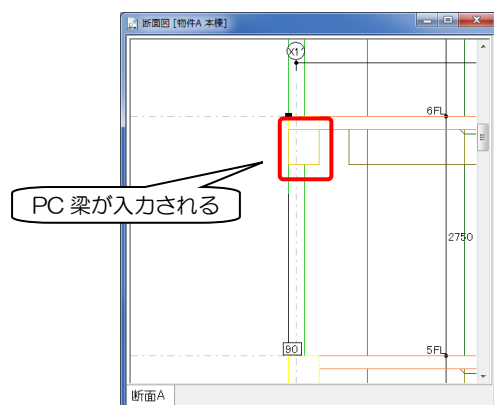


表6 PC梁一括入力ウィザードの説明

項目	説明	
リストの選択方法	入力された PC 梁のリストをどのように選択するかを設定します。	
	自動選択	入力の元になった梁のリスト名から、PC 梁のリストを検索し部分一致するものを自動選択します。
	任意選択	特定のリストを任意で選択します。
部位	一括入力される梁の部位を設定します。	
型枠の有無	一括入力する PC 梁の型枠(フタ、底面、側面)を積算する場合チェックをつけます。	
コンクリートの有無	一括入力する PC 梁のコンクリートを積算する場合チェックをつけます。	

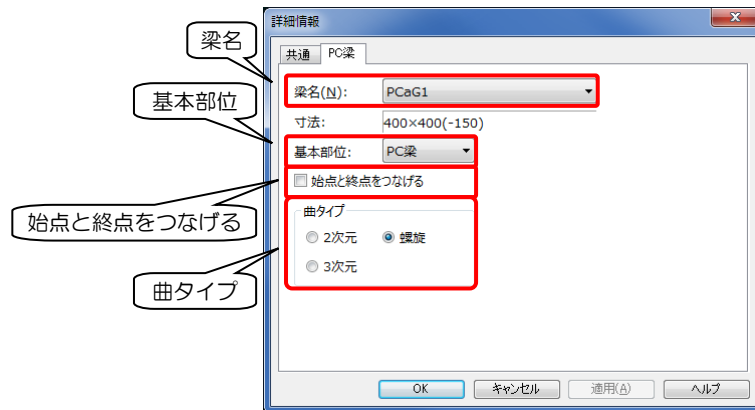
④ 完了



(4) PC 梁の詳細情報

新たに PC 梁の詳細情報が追加されます。

図29 PC梁の詳細情報



a. 梁名

PC 梁リストから梁名を選択します。

b. 基本部位

次の基本部位から選択します。

表7 基本部位

基本部位	説明
PC 梁	大梁の場合これを選択します。小梁より計算順位が優先されます。
PC 小梁	小梁の場合これを選択します。

c. 始点と終点をつなげる

梁の始点と終点をつなげて、閉じた梁にします。辺が 2 辺以上有る場合のみ選択できます。

d. 曲タイプ

梁と同様。

19. スラブ

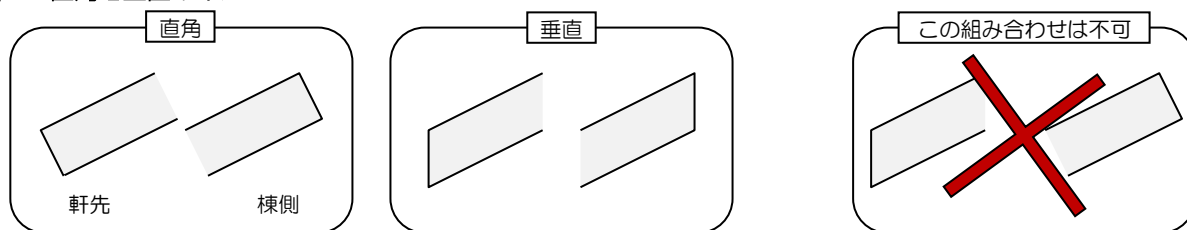
軒先の形状をスロープの支店終点の位置に関係なく、垂直と直角を選択できるようになりました。軒先の形状は地面に対して垂直なものを「垂直」、屋根の傾きに対し直角なものを「直角」とします。

軒先の形状はボールト(曲面)スラブにも適用されます。

(1) 軒先と棟側の形状

軒先と棟側の形状をそれぞれ選択し組み合わせることができます。ただし、軒先が「垂直」棟側が「直角」の組み合わせはできません。

図30 直角と垂直のイメージ



(2) スラブの詳細情報

軒先と棟側の形状はスラブの詳細情報から設定することができます。

図31 詳細情報イメージ (スラブ)



a. 軒先形状

「軒先」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

b. 棟側形状

「棟側」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

c. 掘削範囲

掘削範囲の有無を「余幅」と「法面」個別に設定できるようになりました。

20. スラブ Type4

スラブ Type4 が追加されました。スラブ Type4 によって水勾配やスロープなどの捻じれたスラブを入力することができます。

スラブ Type4 の形状は常に四角形で入力されます。勾配のポイントは持たず、4 つの頂点それぞれに高さを設定することができます。

ポイントの追加や削除、辺を曲にすることはできません。

(1) 平面図での編集方法

スラブ Type4 の編集方法には、一般スラブと同様に「矩形編集」と「頂点編集」があります。4 つの頂点それぞれの高さを設定する場合は断面図から編集します。

図32 平面図での頂点編集イメージ

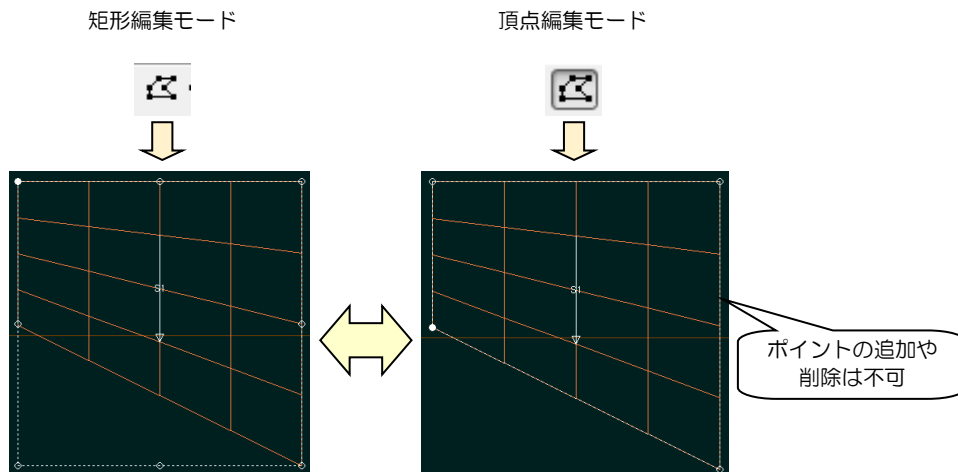
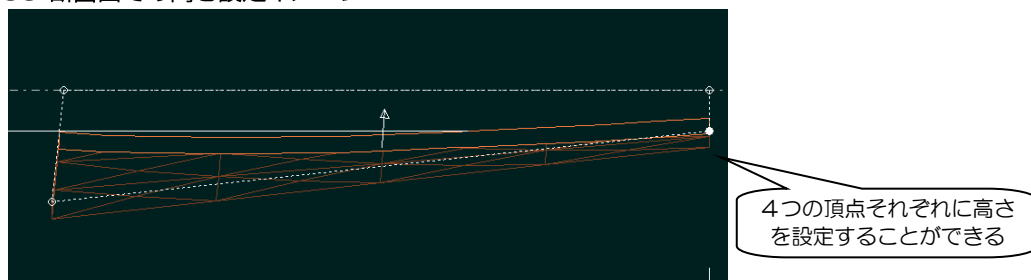


図33 断面図での高さ設定イメージ



(2) スラブ Type4 の詳細情報

スラブ Type4 の詳細情報について説明します。

図34 詳細情報 (スラブType4)



a. 軒先形状

一般スラブと同様に「軒先」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

b. 棟側形状

一般スラブと同様に「棟側」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

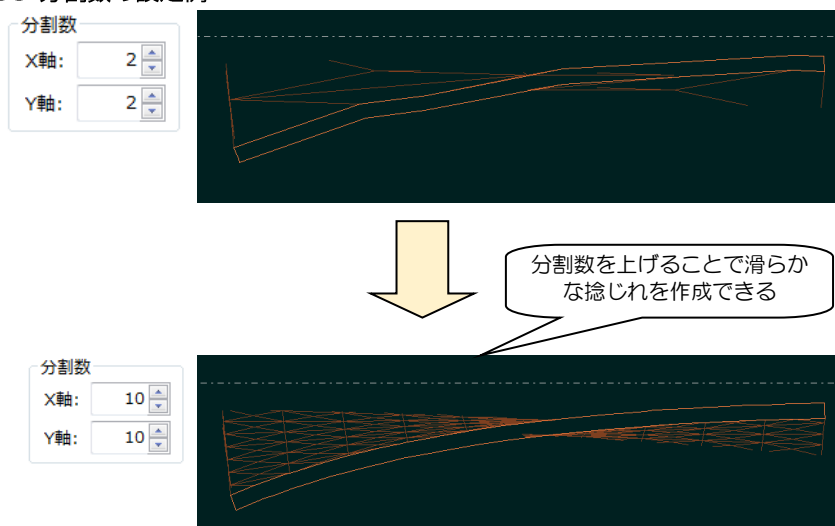
c. 分割数

スラブ Type4 の分割数を設定します。分割数が多いほど滑らかな捻じれを入力することが出来ます。分割数の各項目について表にまとめます。

表8 分割数の説明

項目	説明
X 軸	X 方向の分割数を設定します。任意の数字を入力して指定します。
Y 軸	Y 方向の分割数を設定します。任意の数字を入力して指定します。

図35 分割数の設定例



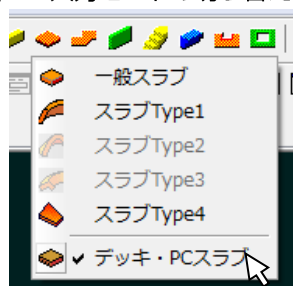
21. デッキ・PC スラブ

デッキ・PC スラブの入力が出来ようになりました。

(1) デッキ・PC スラブの入力

ツールバーのスラブ内から「デッキ・PC スラブ」を選択し入力モードを変更します。

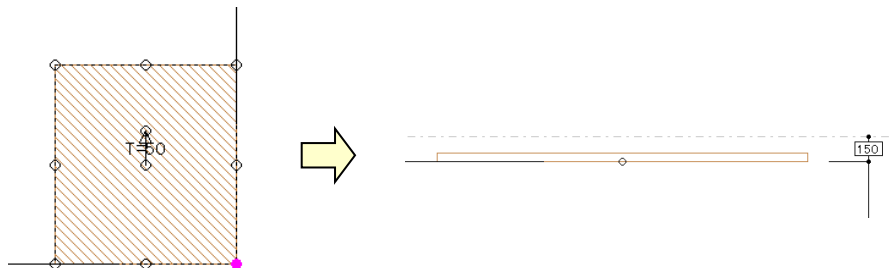
図36 入力モードの切り替え



a. 通常の入力方法

一般スラブと同様に、ダブルクリックドラッグにより範囲を囲うことで入力し、断面で高さを調整します。

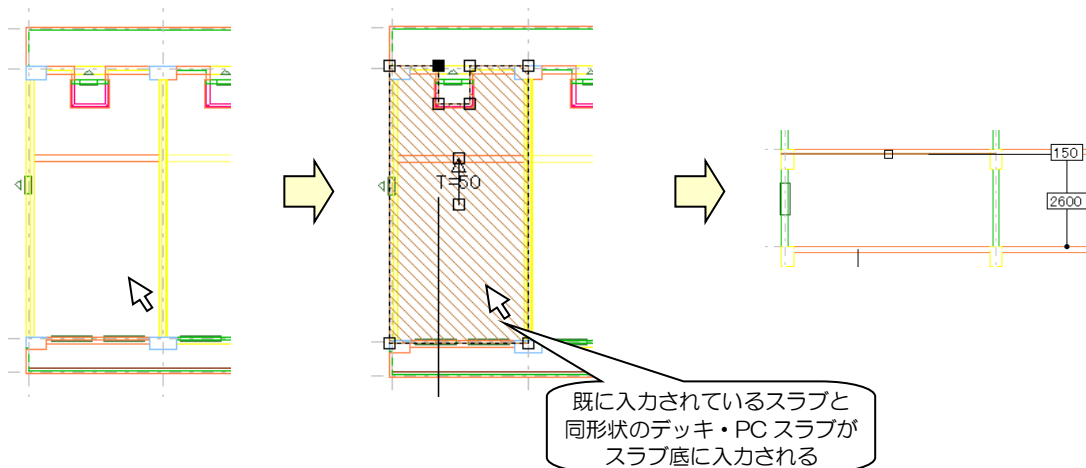
図37 通常の入力



b. 既存スラブに合わせて入力

一般スラブが入力されている範囲をダブルクリックすると、そのスラブ底に同じ形状のデッキ・PC スラブが自動的に入力されます。

図38



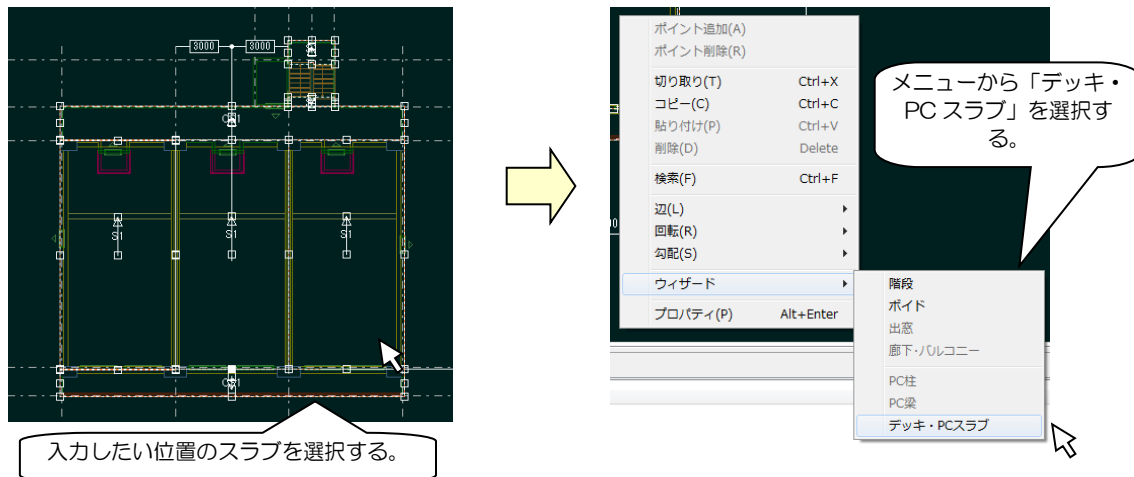
c. ウィザードからの入力

入力したスラブ位置に一括でデッキ・PC スラブを入力することができます。

① ウィザードを開く

既に入力したスラブを選択し右クリックを押します。コンテキストメニューの「ウィザード」から「デッキ・PC スラブ」を選択します。

図39



② 情報を入力

デッキ・PC スラブ作成ウィザードに情報を入力して「OK」ボタンを押します。

図40 デッキ・PCスラブ作成ウィザード

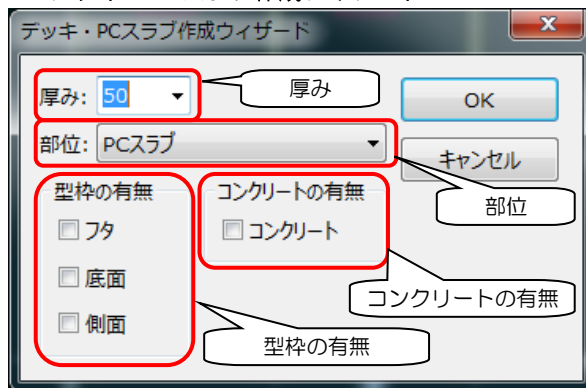
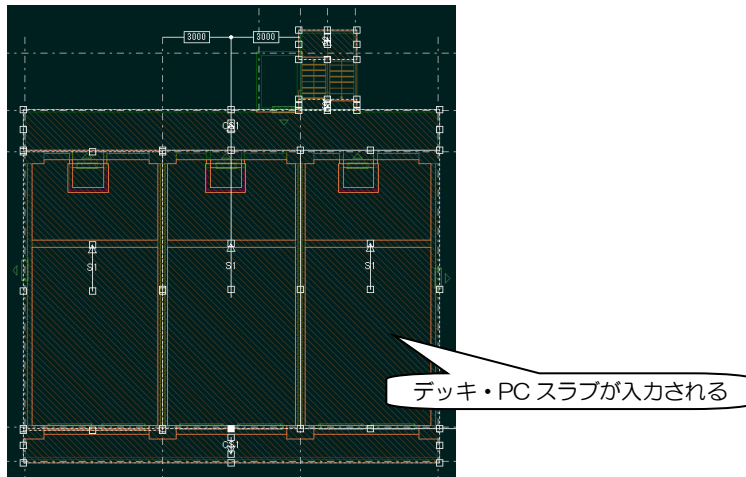


表9 デッキ・PCスラブ作成ウィザードの説明

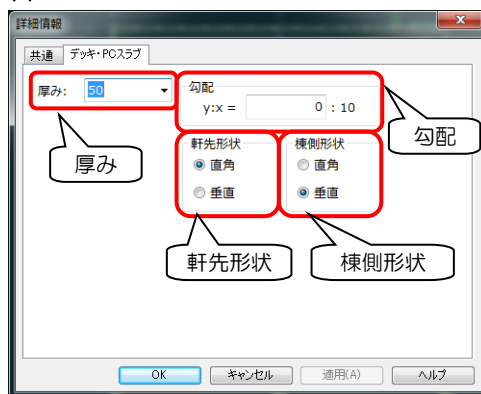
項目	説明
厚み	一括入力するデッキ・PC スラブの厚みを指定します。ドロップダウンメニューから数値を選択するか直接任意の数値を打ち込んで指定することができます。デフォルト値は「50」です。
部位	一括入力するデッキ・PC スラブの部位を設定します。
型枠の有無無し	一括入力するデッキ・PC スラブの型枠(フタ、底面、側面)を積算する場合チェックをつけます。
コンクリートの有無	一括入力するデッキ・PC スラブのコンクリートを積算する場合チェックをつけます。

③ 完了



(2) デッキ・PC スラブの詳細情報

図41



a. 厚み

選択したデッキ・PC スラブの厚みを設定します。

b. 勾配

一般スラブと同じになります。

c. 軒先形状

一般スラブと同様に「軒先」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

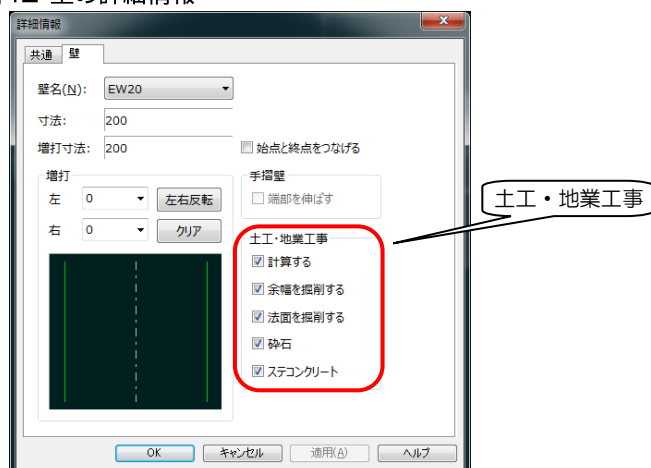
d. 棟側形状

一般スラブと同様に「棟側」の形状を『直角』『垂直』から選択します。

22. 壁

壁の変更点について、壁の詳細情報で土工・事業工事が追加されました。

図42 壁の詳細情報



(1) 土工・地業工事

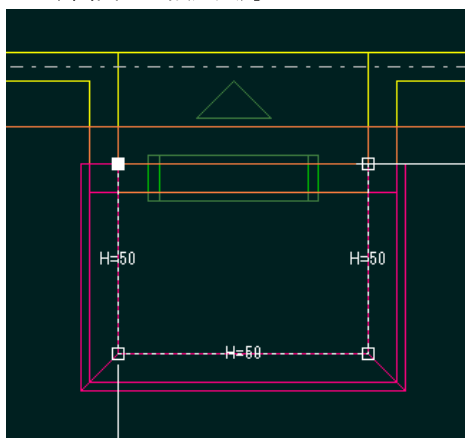
壁にも土工・地業工事の積算が追加されました。

23. 段差

新しく段差が追加されました。段差はスラブ段差用の部材で、スラブ段差止めの型枠数量やメータ数拾いなどのために入力できます。

段差はリストを使用せず、雑 Type2と同様の入力方法で入力することができます。

図43 平面図での段差入力



(1) 段差の詳細情報の入力

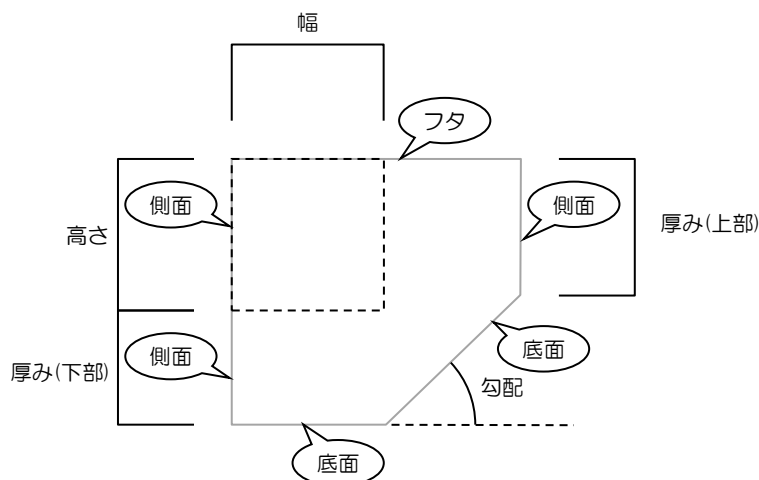
図44 段差の詳細情報

表10 段差の詳細情報の説明

項目	説明
高さ	段差の高さを設定します。
幅	段差の幅を設定します。
厚み(上部)	段差の上部に接するスラブ厚を設定します。
厚み(下部)	段差の下部に接するスラブ厚を設定します。
勾配	段裏の勾配を度数で設定します。水平を 0 とし、 $0 < \text{勾配} \leq 90$ の間で設定します。
始点と終点をつなげる	段差の始点と終点をつなげて、閉じた段差にします。辺が 2 辺以上ある場合にのみ選択可能になります。
土工・地業工事	段差にも土工・地業工事の積算が設定できます。

なお各寸法(高さ、幅、厚み(上部)、厚み(下部))の設定については下図の通りになります。型枠の有り無しに関しては面の種類の通りとします。

図45 段差の寸法と型枠の有無



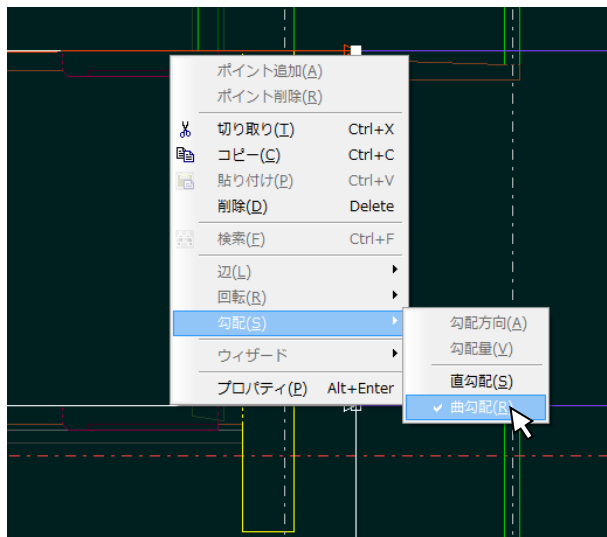
24. 仕上げ

仕上げの変更点について、上部および下部と各レベルの勾配に関して、曲勾配の入力が可能になりました。

(1) 曲勾配の入力方法

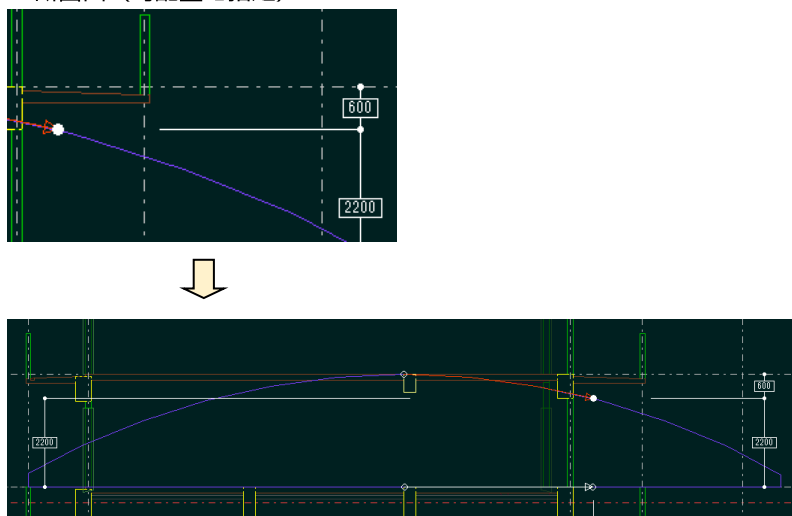
断面図内で勾配の矢印を右クリックしコンテキストメニューから「勾配 - 曲勾配」を選択します。

図46 断面図



勾配量の入力方法や、ポイントの移動、形状に関してはスラブと同様の操作で指定することができます。

図47 断面図（勾配量を指定）



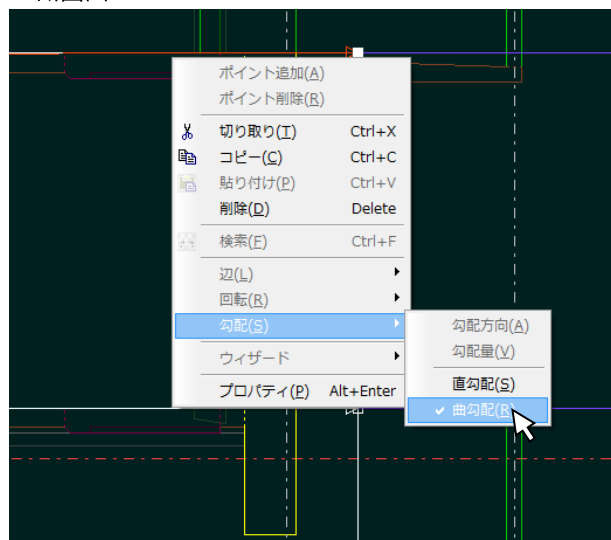
25. スパン割り

上部および下部と各レベルの勾配に関して、曲勾配の入力が可能になりました。

(1) 曲勾配の入力方法

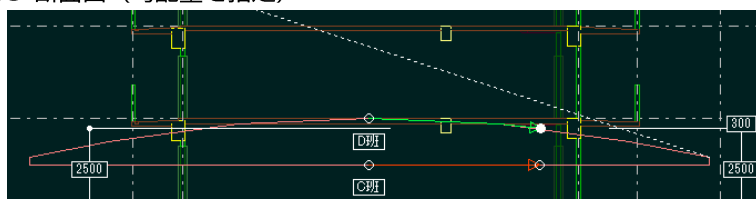
断面図内で勾配の矢印を右クリックしコンテキストメニューから「勾配 - 曲勾配」を選択します。

図48 断面図



勾配量の入力方法や、ポイントの移動、形状に関してはスラブと同様の操作で指定することができます。

図49 断面図（勾配量を指定）



26. 敷地範囲

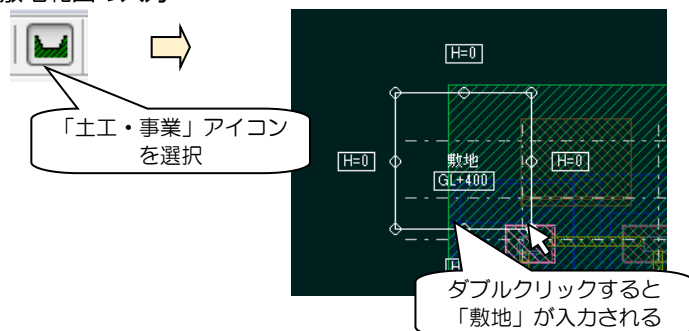
敷地範囲の変更点について、敷地の高さを面ごとに設定できるようになりました。

(1) 入力方法

① 敷地範囲を入力

ツールバー内の「土工・事業」ボタンをクリックし、敷地範囲を入力します。入力方法は柱・梁・スラブと同様にダブルクリックで入力します。

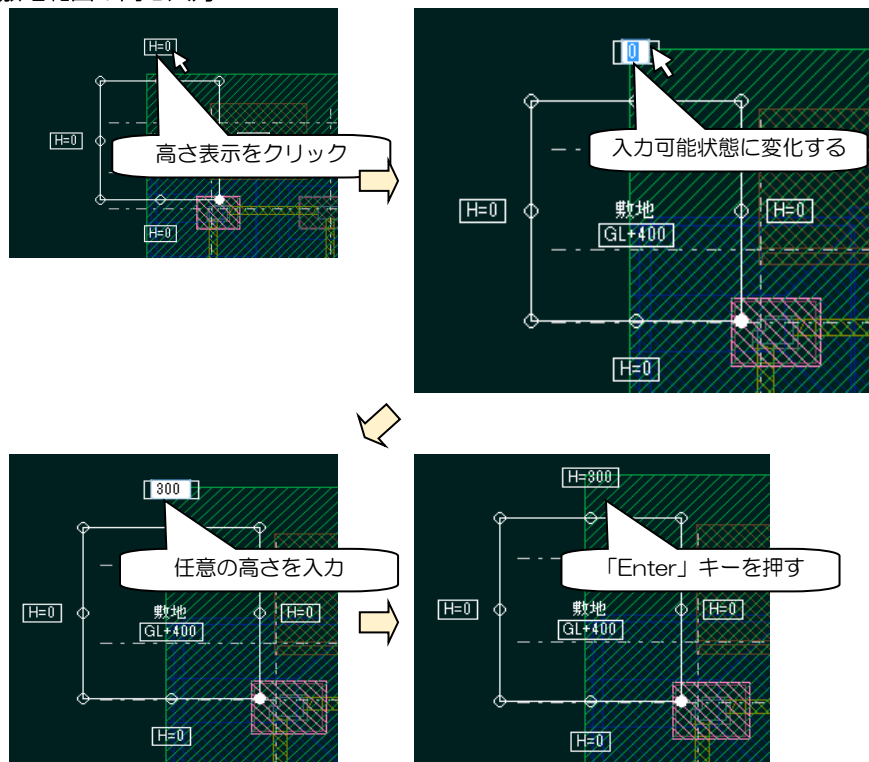
図50 敷地範囲の入力



② 高さを入力する

高さを指定したい面の表示をクリックし、任意の高さを入力し「Enter」キーを押します。

図51 敷地範囲の高さ入力



27. 掘削

余幅と法面の有り無しを部材ごとに設定できるようになりました。

(1) 設定方法

掘削の「詳細情報」ダイアログより余幅と法面の設定をすることができます。

図52 掘削の詳細情報

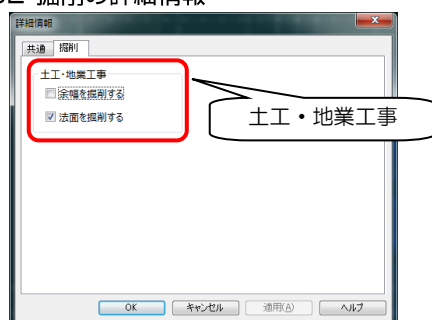


表11 土工・地業工事の説明

名称	説明
余幅を掘削する	根切りの余幅の有無を設定します。
法面を掘削する	根切りの法面の有無を設定します。

28. ボイドスラブ

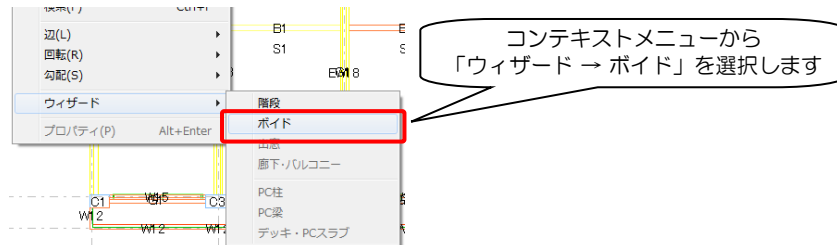
入力ウィザードにボイドスラブが追加されました。

(1) 入力手順

ボイドの入力手順は次の通りです。

① ウィザードを開く

平面図ウィンドウ内で右クリックし、コンテキストメニューから「ウィザード → ボイド」を選択します。



② タイプの選択

スラブ厚とボイドの種類(連続配置型、個別配置型)を選択し「次へ」をクリックします。



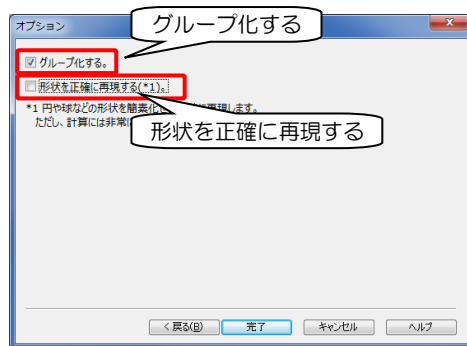
項目	説明	
スラブ厚	ボイドスラブの厚みを入力する。	
ボイドの種類	ボイドの種類を次の 2 種類から選択する。	
	連続配置型	筒型のボイドの入力に使用する。筒のサイズと長さ、間隔で入力する。
	個別配置型	座布団型のボイドの入力に使用する。座布団のサイズと間隔で入力する。

③ 寸法の入力

ボイドの形状とその寸法と、それを配置する間隔と個数を入力し、「次へ」をクリックします。



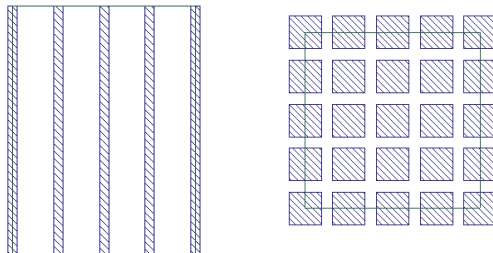
④ オプションの設定



項目	説明
グループ化する	入力されたボイドは複数の部材として入力されます。このチェックを入れておくことでこれらを 1 つにグループ化します。
形状を正確に再現する	このチェックを入れない場合、円柱や球のボイドは体積が一致する四角柱や直方体として入力されます。チェックを入れることで、円柱や球として入力されますが、計算に非常に時間を要しますので注意してください。

⑤ 完成

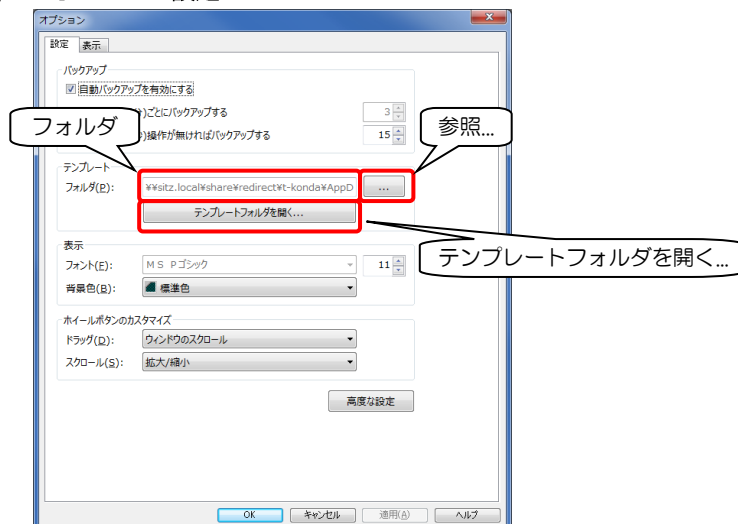
ボイドが入力されます。



29. オプション設定

オプション設定の変更点について、テンプレートフォルダの設定が追加されました。

図53 オプション設定



(1) テンプレートフォルダの設定

テンプレートフォルダには各種リストのインポートやエクスポートされるテンプレートファイルが保存されます。

通常個人設定のフォルダに設定されていますが、ネットワークドライブなどのフォルダを設定することで、テンプレートを共有化することができます。

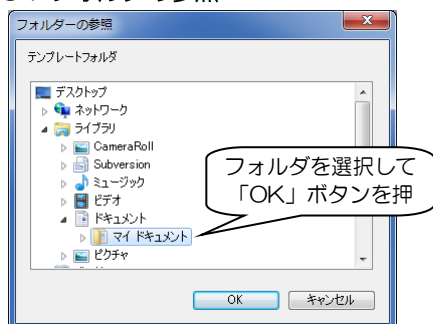
a. フォルダ

現在のテンプレートフォルダの位置が表示されます。未入力の場合、デフォルトのフォルダの位置がグレーで表示されます。

b. 参照

「参照」ボタンをクリックすると「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。

図54 フォルダの参照



c. テンプレートフォルダを開く

ボタンを押すことで、テンプレートフォルダをエクスプローラで開くことができます。別の位置にテンプレートファイルを移動する場合や、別の場所に保存されていたテンプレートファイルをコピーする場合などに使用します。

III. 入力 の 注意 点

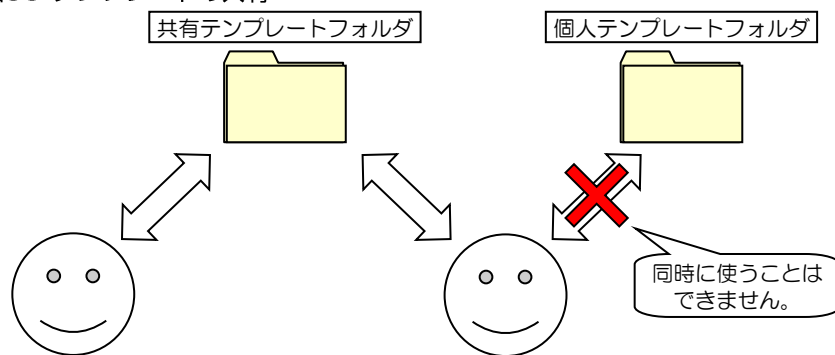
ここでは新しく追加された機能について特に注意する点についてまとめています。

30. テンプレート の 使い 方

テンプレートは雑や仕上げの内容を個別にファイルに保存して、別の棟や建物で再利用できるようにするものです。さらにテンプレートフォルダをファイルサーバの共有フォルダに設定することで、テンプレートを共有することが可能です。

ただし、テンプレートを共有化した場合、個人のテンプレートと共有のテンプレートという使い分けができないため注意が必要です。

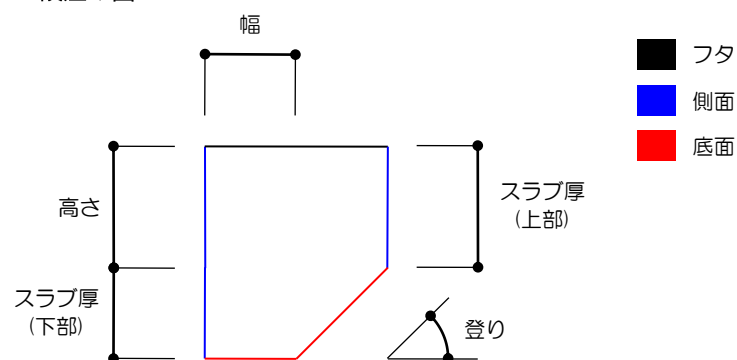
図55 テンプレートの共有



31. 段差 の 入力

段差の入力では、表側の側面のみが「側面」として扱われ、裏側の側面は登りの角度に関係なく「底」として扱われます。

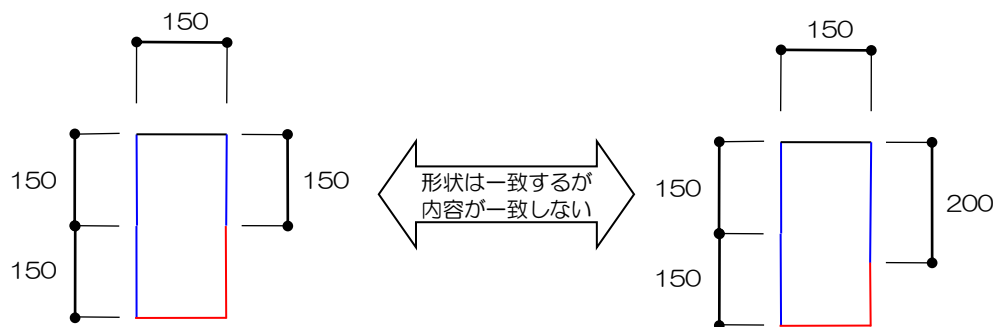
図56 段差の面



a. 段差の上部と下部

段差に接するスラブの厚みは上部と下部別々に設定できるようになっておりますが、上記の特性のため形状が一致していたとしても正しく寸法を入力する必要があります。

図57 例

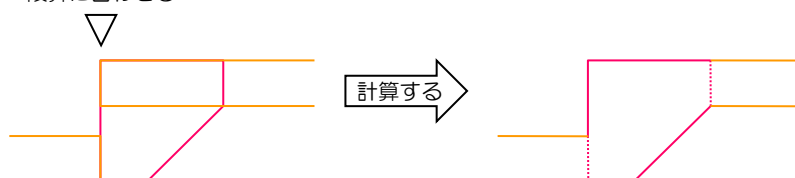


b. 一般スラブの場合

スラブ段差の段鼻に沿って上部スラブ、下部スラブ、段差を入力する。

図58 入力例

段鼻に合わせる



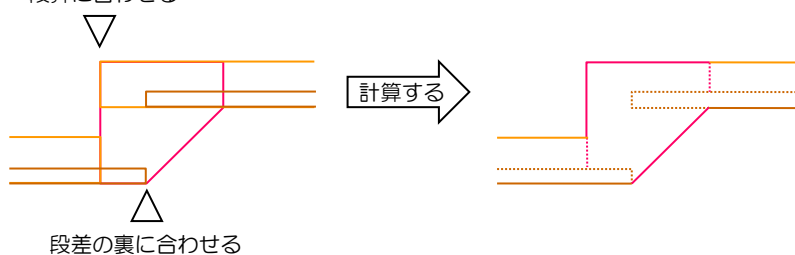
c. デッキ・PC スラブの場合

スラブ段差の段鼻に沿って上部スラブ、下部スラブ、段差を入力する。デッキ・PC スラブは段差の裏側まで伸ばす。

デッキスラブの場合、段差の底面までをデッキとして扱い、段差の裏の小口を型枠として扱うため、段差の底までデッキスラブを伸ばす必要があります。

図59 入力例

段鼻に合わせる



32. 仕上リストの入力

仕上リストの変更によってリストの内容を非常に単純化することが可能です。

(1) 仕上リストの特徴

例えば、レベルを1つ、レベル内の場所を全て削除し、そのレベルを打放に設定することで、仕上げで囲われた範囲は全て打放とすることができます。

次にスラブ底のみをスタイロ打込とすることで、全体は打放でスラブ底のみスタイロ打込にすることができます。

図60 仕上げの例

場所	条件				高さ	型枠種別
	基本部位	部位	面	形状		
レベル0					0	普通
壁側(底)面	壁		底/側面			普通
柱側(底)面	柱		底/側面			普通
梁側(底)面	梁/小梁		底/側面			普通
スラブ(階段)底面	段差/スラブ/側面板/階段		底			普通
スラブ(階段)側面	スラブ/側面板/階段		側面			普通
スラブ段差	段差		側面			普通
スラブ・梁・柱蓋	柱/梁/小梁/スラブ		蓋			普通
階段側上	階段		側上げ			普通
階段踏面	階段		踏面			普通
雑	雑					普通
NEW						

消す

場所	条件				高さ	型枠種別
	基本部位	部位	面	形状		
レベル0						打放
NEW						

「打放」に変更する

場所	条件				高さ	型枠種別
	基本部位	部位	面	形状		
レベル0						打放
NEW						

スラブ底の仕上げのみを「スタイロ打放」にする

(2) 互換性について

旧バージョンとの互換性を確保するようにはなっていますが、以前の割り方とは変化しているため注意が必要です。

特にレベルxの型枠種別に関しては条件が一致しない箇所全てに種別が割り振られるため、この部分に種別を設定すると以前種別を設定できなかったベースのフタにも種別が適用されます。

33. スパン割の計算とオブジェクト

スパン割りに新たに追加された計算書とビューアのチェックについて、計算書をつける場合は必ずビューア(オブジェクト情報)を必要とします。

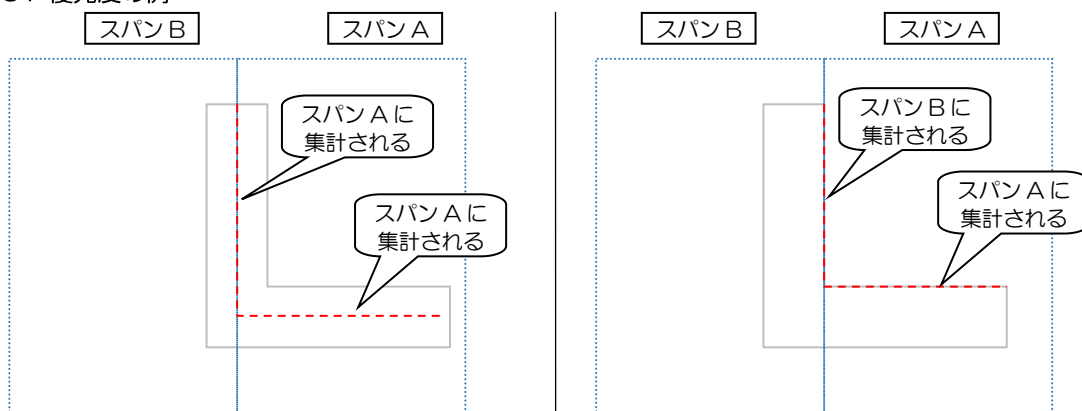
34. 個別集計の計算位置

個別集計で個数や長さを計算する際、常に基準線や基準点を基に計算されます。部材が控除された部分は計算されないため、基準線や基準点(例えば梁天や手摺の底など)が控除される場合は注意が必要です。

(1) スパン割

スパン割の境界に基準線や基準点がある場合、スパン割の優先度の高いほうに集計されます。ただし、部材が完全にどちらかに包含される部分に関してのみ、優先度に関係なく包含しているスパンに集計されます。

図61 優先度の例



※ スパン A の方が優先度が高いものとする。

IV. SPS-List

35. 抽出設定

抽出設定の変更点について、抽出設定のプロパティ画面でテンプレートへのインポートとエクスポートができるようになりました。

(1) インポートとエクスポート

抽出条件に関する設定でインポートとエクスポートが使用できるようになりました。「抽出設定」ダイアログの「インポート」ボタンと「エクスポート」ボタンから操作します。

図62 型枠計算書プロパティ

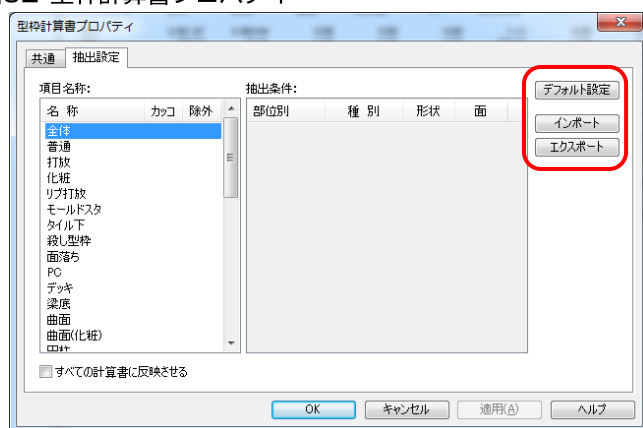


表12 「抽出設定」のボタン説明

ボタン名	説明
デフォルトの設定	抽出設定を規定値に戻します。
インポート	テンプレートから抽出設定を読み込みます。
エクスポート	テンプレートへ抽出設定を書き出します。

36. 注意書き

各集計表内に文書を貼り付ける事ができるようになりました。

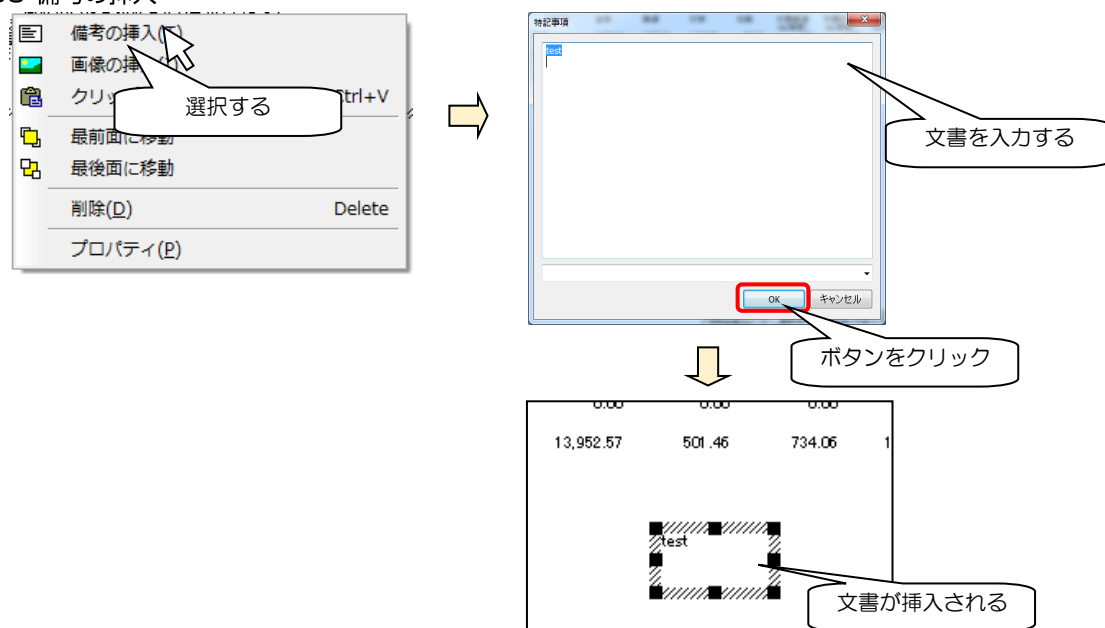
(1) 作成する

各集計表内で右クリックし、コンテキストメニューから「備考の挿入」を選択します。

選択すると「備考の挿入」ダイアログが開きます。挿入したい文書をダイアログ内に入力していきます。

最後に「OK」ボタンをクリックすると備考が挿入されます。

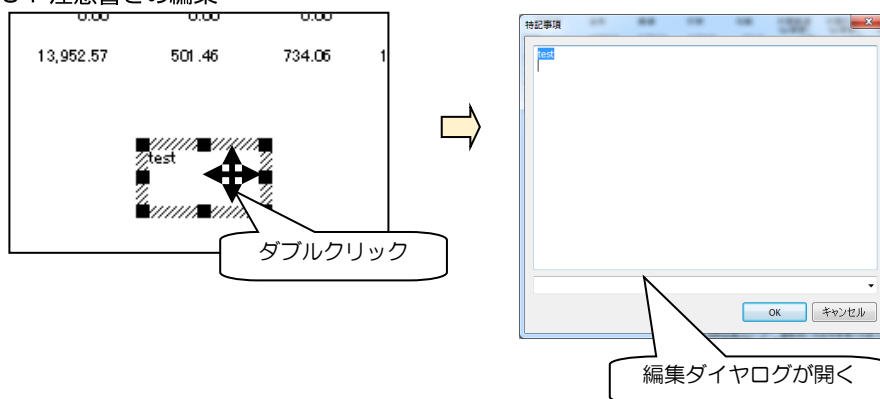
図63 備考の挿入



(2) 編集する

注意書きを編集する際は挿入した注意書きをダブルクリックすることで編集することができます。

図64 注意書きの編集



(3) 削除する

削除したい注意書きを一度クリックして選択します。選択した状態でコンテキストメニューから「削除」を選択することで注意書きを削除することができます。

キーボードの「Delete」キーを押すことでも同じ操作をすることができます。

37. 画像挿入

各集計表内に画像データを貼り付ける事ができるようになりました。

(1) 作成する

各集計表内で右クリックし、コンテキストメニューから「画像の挿入」を選択します。

図65 画像の挿入



キーボードの「Delete」キーを押すことでも同じ操作をすることができます。

38. 個別集計計算書

部材ごとの個別集計をした計算書を表示できるようになりました。

SPS-List 内の「プロジェクト」ウィンドウから「個別集計計算書」をダブルクリックすることで計算書を開く事が出来ます。

図66 個別集計計算書



(1) 集計表について

個別集計計算書の集計表は行に項目、列にフロアを並べて表示します。

項目はまず部材の種類で分割したうえで、詳細にリストや範囲が列挙されます。

図67 個別集計計算書内の集計表

物件A 本棟

印刷日: 2016/06/01 17:25
計算日: 2016/04/06 16:59

建物用途 全体
構造 造 床 基礎形式 独立基礎
地下 0 階 建築面積 0.00 m²
地上 5 階 延床面積 0.00 m²
PH 1 階

図面の種類 施工図

行に項目を表示

列にフロアを表示

部材 項目 単位 合計 1キソ 1F土間・ビスト 1FL 2FL 3FL 4FL 5FL 6FL

独立キノ	F1	ヶ所	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	F3	ヶ所	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
柱(個数)	C3	ヶ所	28.00	4.00	0.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	C1	ヶ所	28.00	4.00	0.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
柱(長さ)	C1	m	69.00	2.80	0.00	11.20	11.20	11.00	11.00	11.00	10.80
	C3	m	69.00	2.80	0.00	11.20	11.20	11.00	11.00	11.00	10.80
梁	G1	m	520.76	73.56	0.00	73.56	73.56	73.76	73.76	73.76	78.80
	G2	m	33.16	33.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	B1	m	100.28	0.00	0.00	16.58	16.58	16.78	16.78	16.78	16.78
段差	段差50	m	36.91	0.00	6.15	6.15	6.15	6.15	6.15	6.15	0.00
壁	EW18	m	274.60	0.00	0.00	46.60	46.60	46.80	46.80	46.80	46.00
手摺り立上りA		m	44.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	44.74
雑(個数)	遮音針芯礎	ヶ所	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
雑(長さ)	バラベツ	m	9.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.20
建具	SD1	ヶ所	18.00	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	AW2	ヶ所	36.00	0.00	0.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	AW3	ヶ所	12.00	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	EV開口	ヶ所	6.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
ミソ	ミソ	m	89.70	0.00	0.00	17.94	17.94	17.94	17.94	17.94	0.00

(2) 計算書について

計算書はフロア、部材の順にツリー構造で表示されます。

計算書内には同一の部材名を集計項目に関係なく、「通り芯名」順に表示します。

図68 個別集計計算書内の計算書

全体

集計

目次

1キソ

独立キノ

柱(個数)

柱(長さ)

梁

フロア、部材の順にツリー構造で表示される。

「独立キノ」の計算書を表示した例

個別集計計算書

工事名: 物件A 本棟

階名: 1キソ
部材名: 独立キノ

場所名	リネ名	リネサイズ	経緯	場所名	リネ名	リネサイズ	経緯
X1', Y1'-Y1	F1	2000×1500×1300	1.00	X1', Y3	F1	2000×1500×1300	1.00
X1, Y1'-Y1	F3	3000×1500×1300	1.00	X1, Y3	F3	3000×1500×1300	1.00
X2, Y1'-Y1	F3	3000×1500×1300	1.00	X2, Y3	F3	3000×1500×1300	1.00
X3, Y1'-Y1	F1	2000×1500×1300	1.00	X3, Y3	F1	2000×1500×1300	1.00
小計	F1				F9		
(ヶ所)	(ヶ所)				(ヶ所)		
8.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

39. 土工・地業計算書

土工・地業についての計算書を表示することができるようになりました。

SPS-List 内の「プロジェクト」ウィンドウから「土工・地業計算書」をダブルクリックすることで計算書を開く事が出来ます。

図69 土工・地業計算書



(1) 集計表について

土工・地業計算書の集計表は種類別に仕切り分けされた状態で表示されます。

また、埋戻と盛土を使用する土の種類(根切土の中の良土、搬入良土)に分けて集計されます。

集計の仕方につきましては「(2) 残土処分・不足土搬入について」を参照下さい。

図70 土工・地業計算書内の集計表

物件A 本棟

建物用途: 商業施設
構造形式: 鉄骨造
集計方法: 実数
図面の種類: 施工図

印刷日: 2016/06/02 11:41
計算日: 2016/04/06 16:59

株式会社 しゅつ

〒604-8381
京都市中京区西ノ京御司町67番地72
Tel:075-813-0037 Fax:075-813-0038

項目	仕様	摘要	単位	合計	1キソ	1F土間・ビト
根切り			m3	456.40	456.40	0.00
根切土搬出		場外搬出	m3	456.40	456.40	0.00
埋戻し		根切土の中の良土	m3	373.69	373.69	0.00
盛土		根切土の中の良土	m3	739.45	739.45	0.00
不足土搬入			m3	656.74		
山留め			m	198.16	100.20	97.96
床付け		独立基礎	m	32.98	32.98	0.00
		柱	m	4.51	4.51	0.00
		梁	m	32.24	32.24	0.00
		スラブ	m	181.86	0.00	181.86
		壁	m	1.28	1.28	0.00
		合計	m	253.87	72.01	181.86
砕石	t=60	独立基礎	m3	1.98	1.98	0.00
	t=60	柱	m3	0.06	0.06	0.00
	t=60	梁	m3	1.99	1.99	0.00
	t=100	スラブ	m3	18.19	0.00	18.19
	t=60	壁	m3	0.08	0.08	0.00
		合計	m3	22.29	4.10	18.19
捨てコン	捨てコン仕様 (t=60)	独立基礎	m3	1.65	1.65	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	柱	m3	0.04	0.04	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	梁	m3	1.66	1.66	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	スラブ	m3	9.99	0.00	9.99
	捨てコン仕様 (t=60)	壁	m3	0.06	0.06	0.00
		合計	m3	12.40	3.41	9.99
捨てコン	捨てコン仕様 (t=60)	独立基礎	m	62.60	62.60	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	柱	m	3.14	3.14	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	梁	m	115.46	115.46	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	スラブ	m	0.00	0.00	0.00
	捨てコン仕様 (t=60)	壁	m	6.54	0.00	0.00
		合計	m	187.74	187.74	0.00
断熱材	断熱仕様		m	179.58	0.00	179.58
防湿シート	防湿仕様		m	179.58	0.00	179.58
ラップルゴ			m3	3.74	3.74	0.00
ラップルゴ			m3	7.80	7.80	0.00
地中梁底型枠			m	10.40	10.40	0.00

(2) 残土処分・不足土搬入について

根切土の合計から埋戻と盛土のうち摘要が「根切土の中の良土」であるものの合計を引いた数値がプラスなら「残土処分」とし、マイナスなら「不足土搬入」とされ表示されます。

図71 場外搬出となる場合

フロア名	仕様	摘要	単位	全体	1 キソ	1 土間・ピット
根切土			m3	2000.00	1800.00	200.00
根切土搬出		場外搬出	m3	2000.00	1800.00	200.00
埋戻土		搬入良土	m3	1,500.00	1,400.00	100.00
盛土		搬入良土	m3	300.00	0.00	300.00
残土処分			m3	2000.00	-	-

図72 不足土搬入となる場合

フロア名	仕様	摘要	単位	全体	1 キソ	1 土間・ピット
根切り			m3	2000.00	1800.00	200.00
根切土搬出		場外搬出	m3	2000.00	1800.00	200.00
埋戻し		根切土の中の良土	m3	1,500.00	1,400.00	100.00
盛土		根切土の中の良土	m3	1000.00	0.00	1000.00
不足土搬入			m3	500.00	-	-